

# 事例で見る よきリーダーの心得

第14回

経営ジャーナリスト・中小企業診断士 瀬戸川礼子

## コロナを乗り越えるための情報シェア

### 新型コロナウィルス 企業の取り組み

こんにちは。みなさまの状況はいかがでしょう。か。「新型コロナウィルス」による苦境を、他社はどう乗り越えようとしているのか「互いに乗り越えようとする仲間がほしい」という声なき声に耳を傾け、委員の一人として携わっている「ホワイ ト企業大賞」では、受賞・

応募企業に対し、対策を緊急アンケートしました。質問項目は、①現状（困っていること、よかったこと）、②工夫点（社員、顧客、取引先、資金面）の大きき二つです。

第一弾として、25社の現況を「note」というウェブサービス上にアップしていますので、ぜひご覧ください（検索ワードはnoteホワイ ト企業大賞）。この中から、3

社の取り組みを紹介しましょう。

### それぞれの企業が大切にしたいもの

レーザー機器の商社で、海外製品を数多く輸入している（株）日本レーザ（東京都新宿区）は、すでに3月の時点で強い危機感を抱いたといえます。普段から、為替変動に

早急に、社内の基幹業務システムに外からアクセスできる環境を整え、手書きメモやファックスなどアナログ情報をデジタル化し、4月7日の緊急事態宣言前には、ほぼ全員（全社員70人うちフルタイム社員58人）が在宅勤務できる体制を整えました。同社の財務体質は優良ですが、念のため

有利子負債は3億から5億に増やしました。社員の心理ケアにも配慮しています。入社早々、上京先のアパートで一人、在宅勤務となった社員もいたことから、日に3回はグループごとにオンラインミーティングを実施。孤立感の払拭に配慮しています。同社が特に強調したの

は、「クレド（信条）＝考え方」です。「戦術や環境整備も大切ですが、社員の命と健康が何よりも最優先であり、また、利他と感謝の心があればこそ、仕事と在宅勤務がいきることと忘れてはいけません」（近藤宣之社長）。